



Boat impression SeaRay 370 VENTURE



SeaRay 370 VENTURE

全長 11.33m 全幅 3.43m 乾燥重量 7,000kg 燃料容量 840L
 清水容量 117L 定員 12名 航行区域 沿岸区域 最高出力 300hp×2
 搭載エンジン マーキュリー 300 Verado×2基

¥50,899,000 (税抜)

取材協力:アインスAリゾート株式会社 大阪府堺市堺区神南辺町四丁120-2
 TEL 072-224-4040 URL <http://www.eins-a.jp/>
 取材協力:芦屋マリーナ 兵庫県芦屋市海洋町11番1号
 TEL 0797-35-6662 URL <http://ashiya.marinajapan.jp>



今回登場するのはシーレイ370ベンチャー。このボートは船外機艇で、エンジンボックスにマーキュリー300ベラードを2基搭載している。スロットルを倒すと、徐々に加速していき、30ノットを越える爽快感溢れる走りを楽しませてくれる。船外機を完全に隠しているため、コックピットの居住性もその分高くなっている。

30ノットオーバーの爽快なクルージングとエレガントなボートスタイルの両方を楽しめるエクスプレスクルーザー。これが今回ご紹介する『SeaRay 370 Venture』。このボートはマーキュリー300馬力を2基掛けて搭載しており、パワフルな乗り味を楽しめるボートだ。今回このボートをご紹介してくれるのは、大阪府にあるアインスAリゾート。ここはシーレイの日本総輸入元として、これまでに全国で多数の販売実績を誇っており、安心と信頼を標準装備して常に最新モデルを提供している。取材当日、編集部が訪れたのは兵庫県にある芦屋マリーナ。そこには既にシーレイ370ベンチャーが海上に浮かべられていた。ボートの外観を見てまず感じるのはハルの形状、シートの色使いの上品さだ。コックピットのシートに腰を掛けるだけで、自分の周りの世界が変わった様な気分を味わえてしまう。こんな上品なボートで仲間とパーティーをやったらきっと盛り上がるだろう。また、走行面においての特徴としては、スロットルを倒していくと徐々に加速し、船外機の回転数を4000回転まで上げたところでフワッとした軽い感覚を体感する事が出来る。ここから回転数と速度をグングンと上昇させて、6000回転に到達した頃には30ノットを越えて爽快感溢れる乗り味を楽しむ事が出来たのだ。更には船外機をエンジンボックスで覆っているため、コック

ピットの居住性もその分高くなっている。



ヘルムステーションはパネル類やステアリング、スロットルとの距離感が非常に良く、操船もし易い。2人掛けのシートもあり、並んで操船すれば会話も弾みそうだ。レーダーアーチにはオーニングも装着可能。広めのギャレーや発電機もあるので、本格的な調理も楽しめそうだ。海水を流せる冷水シャワーも備え付けられている。船外機はエンジンボックスに完全に収納され、フタをするとエンジン音がかなり押さえられるため、のんびりと会話を楽しめてしまうのだ。

船外機フラッシング水道

冷水シャワー



パウデッキにはサンベッドが2つあり、ボートステイやクルージングの際に重宝出来そう。角度も調整出来るので、それぞれの用途に応じた使用も可能。コックピット内に配置されたシートはまさに変幻自在!!目的に合わせて次々と姿を変える事が出来るので、出航の度に新しいスタイルを自分やゲストに見せてくれる。また、食事を囲む際のテーブルをセットする事も可能だ。フラットにもなるシートが多いので、寝転んで海に浮かんでいるだけでも非常に贅沢なひと時を味わえるのだ。



パウバースはエレガントな雰囲気の中で中央にはテーブルを設置したり、フィラークッションを置く事も出来る。また、広さも大人二人が横になれる横幅を確保している。パウバースの奥からはキャビン内を見渡す事も出来て開放感抜群だ。ギャレーやシャワー&トイレもあるので、長時間ボートに滞在する事も出来そう。

ピットへのエンジン音はかなり抑さえられている。マリーナから出る際には本当に集中していないとエンジン音を聞き取れない程だ。もちろん走行時には全く聞こえないなんて事は無いが、波を切る音や風の音を加味しても、コックピット内の静粛性はかなり高いのではないだろうか。そしてキャビン内に入ると、落ち着いた上質な空間が広がっている。パウバースに広がるスペースにはテーブルを設置すれば語らいの場になるだろうし、クッションを設置すればそのまま体を休めることも出来る。本格的なギャレーやトイレ&シャワーも装備されているので、仲間や家族、恋人を誘ってクルージングに行っても十分楽しめてしまうサ

イズだろう。そしてここでの注目点はミッドパースの広さである。大きなベッドとソファが配置されたレイアウトに窮屈な感覚を覚える事はなく、体を包み込んでくれるようなクッション性のある寝心地、または座り心地を味わえる。夜ボートを浮かべながら、仲間達とこれだけの空間で語らいながらお酒を飲む。こういった楽しみを味わえるのも、シーレイオーナーの特権だ。そして朝焼けを感じながらボートでシーレイの乗り味を堪能する。そんな休日を僅かな時間で自分にイメージさせてくれる。今回ご紹介した『シーレイ370ベンチャー』は、スピーディーな乗り味と、上品な語らい空間の両方を楽しめる贅沢なボートであった。